

特集

# サンディンググループのCSR重点課題の策定に向けて 持続的な成長を目指して 「環境」から企業価値を創造する

サンディンググループでは「CSR=企業理念\*の実践」と位置付けて企業活動を行っています。国内外のお客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのCSRに関する全体的な関心が高まる中でCSR活動をさらに推進するためには、「実践しやすい仕組みと体制」「取り組む内容の具体的な実行プラン」が必要と考え、2014年度にCSR推進委員会を設立しました。この委員会はグループ全体で取り組むべきCSR活動を抽出し、企業活動の基礎となる企業理念と結びつけるとともに、CSR重点課題(マテリアリティ)を策定する作業を進めています。本特集では、CSR重点課題に対するサンデンの考え方と経営方針の中核を成す「環境」への取り組みをご報告します。

\*企業理念についてはP1をご参照ください。



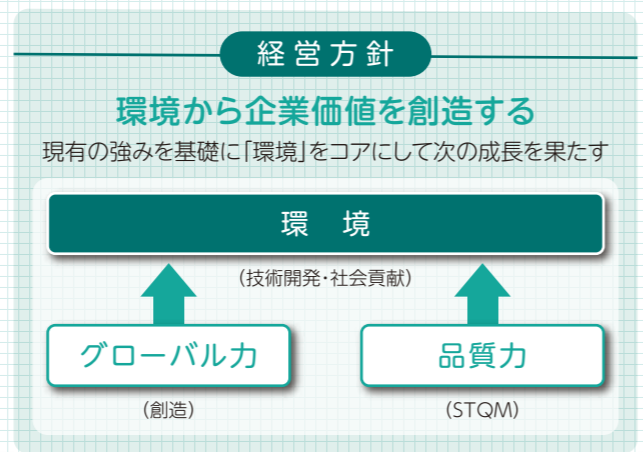
## CSR重点課題の策定の背景

近年、国内外のお客さまや調査機関からサンディンググループのCSR活動に対するお問い合わせやアンケート調査などを多くいただきます。お客さまから直接工場での監査を求められることもあります。アンケートによる評価項目(質問項目)も増え、お客さまからのCSR活動に対する社会的関心は高まっています。

例えば、米国における「紛争鉱物開示規制」のように、特定の地域で採掘された鉱物の使用についての調査対応や、サプライチェーンにおける環境負荷、人権についての質問も増えており、自社オペレーションにとどまらないサプライチェーン全体でのCSR活動への関心が寄せられています。

サンディンググループは「サンデンのCSR=企業理念の実践」を掲げて企業活動を行っています。これをさらに進化

させ、持続的な行動と成果につなげるため、2014年度に各事業領域の統括者をメンバーとするCSR推進委員会を設立し、「実践しやすい仕組みと体制」と「取り組む内容の具体的な実行プラン」づくりを行うこととしました。この取り組みにあたっては、第三者意見においていただいた



「全社でCSRを推進させていくには仕組みと体制の構築が必要」との指摘も参考にさせていただいています。

そしてその仕組みには、現在グローバル企業として求められるCSR国際標準やガイドラインなどの考え方を取り入れるとともに、今後もステークホルダーからの要請に耳を傾けてまいります。

## CSR重点課題の策定に向けて

基本的な考え方として、「経営方針」に基づく「環境」と「企業は人なり」の理念から導き出された「人」を軸にした価値創造の実現のために、まず必要とされるCSR項目と企業理念のひも付けを行います。

次のステップとして、CSR推進委員会が中心となり、CSR重点課題(マテリアリティ)の策定に取り組めます。前述したCSR項目と企業理念のひも付けをもとに、「経営における重要性分析」と「社会からの要請に照らした重要性分析」を行い、サンデンが重点的に取り組むべきCSR課題を明確にいたします。

(右図「CSR重点課題策定のステップ」をご参照ください)

2014年度は、重点課題策定プロセスの前半に着手しました。2015年度は外部の方からもご意見をいただきながら、CSR重点課題の策定に取り組んでまいります。



早稲田大学  
大学院生との対話

CSR推進委員会での  
議論の様子



## 社員の持続的な行動と成果につなげていきます

総務本部 広報・CSR部長 福岡 智

サンデンらしいCSR活動を全社的に推進していくために、昨年4月にCSR推進委員会を設立するとともに、11月に広報・CSR部が発足しました。委員会での会合を重ねるごとに議論が深まると同時に、社員の理解・関心も高まってきていると感じています。ステークホルダーの皆さまの声に耳を傾けながら、企業理念の実践によるCSR活動を通じて、社会の信頼と期待により一層お応えできるよう邁進してまいります。



## CSR重点課題策定のステップ

